

バイオマスを使用した「ごみ袋」のフィールド実験を開始 ～プラスチックの使用量削減、CO₂排出の抑制実現に向けて～

昭和産業株式会社(本社:東京都千代田区、代表取締役社長 新妻一彦)は、当社バイオマスを有効活用した清掃作業用「ごみ袋」のフィールド実験を、船橋市の協力を得て、船橋市役所本庁舎内にて開始いたしました。

昨今、COP21 では「パリ協定」、国連では「持続可能な開発目標(SDGs)」が採択され、国内でも地球温暖化対策計画によって、温室効果ガスの削減目標が決定されております。当社においても、「長期ビジョン」および「中期経営計画」の基本戦略の1つに『社会的課題解決の貢献』を掲げており、環境対策への取り組みとしてさまざまな研究開発を行っております。

本実験に使用する当社開発のごみ袋(45L、90L)は、原料の一部にバイオマス(原料:小麦、トウモロコシ)を使用することにより、石油由来プラスチックの使用量を削減し、二酸化炭素(CO₂)排出を抑えた設計としております。今回の開発を担当した当社の基盤技術研究所が船橋市内にあることから、このたび船橋市の協力を得て、フィールド実験を実施する運びとなりました。実験期間は、2019年9月より1年間を計画し、市民の皆様や第三者の立場からのご意見を研究開発へ役立ててまいります。

《特長》

- (1) バイオマス(非食用小麦粉 15%、工業用コーンスターチ 5%)を 20%使用
- (2) 石油由来プラスチックの使用量を 20%削減
- (3) 廃棄(焼却)時の CO₂ の排出量を 20%削減
- (4) 袋の強度等は JIS 規格対応

昭和産業は、今後も石油資源の使用量削減、CO₂ 排出の抑制実現など環境問題への取り組みも強化してまいります。



【ごみ袋(90L、45L)】



【船橋市役所本庁舎内でのフィールド実験】



以上

＜本件に関する報道関係の方のお問い合わせ先＞

昭和産業株式会社 経営企画部 コーポレート・コミュニケーション室 担当:赤松
TEL:03-3257-2042